

赤坂インターシティ・ホームツバイカウント

建物諸元(2017年1月現在)

所在	港区赤坂 1-11-44
主用途	事務所、店舗、住宅
敷地面積	8,020 m ²
延床面積	41,311 m ² (住宅除く)
階数	地上 29 階 地下 3 階
竣工年月	2005 年 2 月
事業者・所有者	新日鉄興和不動産株式会社 —— ジャパンエクセレント投資法人
設計会社	株式会社日本設計
施工会社	鹿島建設株式会社、株式会社大林組
管理会社	興和不動産ファミリーーズ株式会社
URL	http://www.nskre.co.jp/company/business/building/development/akasakaic/
テナント数	14 社(特定テナント 2 社)

主な評価項目

I 一般管理事項

・CO₂ 排出削減を行うためテナント及び管理会社との推進体制の整備

II 建物、設備性能に関する事項

・高効率熱源(DHC)、自然換気システム、外気冷房システムの導入

III 運用に関する事項

・省 CO₂ を考慮した管理標準に基づく継続的な保守管理

・省 CO₂ 運用にかかる啓蒙活動の実施

事業所の概要

赤坂インターシティ・ホームツバイカウントは、2005 年 2 月に竣工した、ハイクラスのオフィスと高級賃貸住宅による職住一体型超高層タワーです。建物開発にあたり、敷地の7割近くの面積を緑地帯・公開空地として整備し、都心に潤いのある空間を創出しています。また、マリアテレジア・イエローのテラコッタを採用した外観は、地域のランドマークになっています。

事業所における環境負荷低減の取組

【建物に取り入れた環境負荷低減手法】

- ・高性能な外装材の採用
日射遮蔽ルーバーと高性能遮熱断熱(Low-e)ガラスの採用
- ・コージェネレーションシステムの導入
地域冷暖房(DHC)と連携した天然ガスコージェネレーションシステムの導入
- ・省エネルギー型空調システムの導入
インテリア空調は外気冷房を可能とする外調機+変風量2次空調機によるベアダクト方式、ペリメータ空調は冷風と温風の吹出し口を分けたデュアルダクト方式を採用
- ・自然エネルギーの活用
冷房負荷低減のため、外壁カーテンウォールに自然換気ダンパの設置
- ・上水の節減
雨水・空調機ドレン・DHCドレンの利用

【維持管理における環境負荷低減の取組】

- ・省CO₂を推進する運営組織
継続的な省CO₂推進に向けて事業者・テナント・管理者による定期的な省エネルギー会議を実施
- ・省CO₂にかかる運用
ファンのプーリーダウン等の省エネチューニングの実施
- ・省エネルギーに関する評価・分析
BEMS活用によるエネルギー消費量推移の把握と、省エネルギー対策の評価の実施



事業所外観写真